

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	緊急時のマニュアルや火災対策は、周知できている様々な災害(例:夜間帯を想定した)訓練も実施しました。災害に備えた物資を用意して置く事が必要。	あらゆる災害に対して、すべての職員が応急手当や初期対応が出来る体制を作る。	様々な状況を想定して、避難訓練を実施するとともに、地域の避難訓練に参加できるよう働きかけ、ホームでの避難訓練にも参加して頂けるような関係を作り連携体制を整えていく。	6ヶ月
2	5	身体拘束のケアとして、玄関の施錠について施設の側に池があるため、ほとんど施錠をしている。	利用者が自由に屋外に出る時間帯を設け、施設外での散歩など楽しんでいただく。	各ユニット事に、週3回程度、出入り口を施錠しない時間帯を作り開放した時間帯を提供する。	3ヶ月
3	26	利用者との関わりを密にして利用者の「出来る事」「したい事」を十分に考慮し、その人らしい生活ができる介護計画を作成する。(チームで作る介護計画)	一人ひとりが、その人らしい生活が送れるよう、個性や具体的なケア内容をわかりやすい表現に変えていく。	本人の課題を分かりやすく記録し、生活シートや申し送りノートを活用し、チームでケアに活かせる具体的な計画を作成する。	6ヶ月
4	37	自己決定の支援において、利用者一人ひとりの認識を持ち希望に添った本人らしい生活が送れる支援をする。	意思表示の難しい方や言葉の聞き取れない方に対して職員が必ず確認をする。	おやつ時は、何種類か用意をし本人が選べるバイキング方式など取り入れる。また、レクなどは利用者の希望を事前に聞く事で参加する事ができる。	3ヶ月
5	10	家族の方から、ホームに対する意見があまり出て来ない。	家族様から、些細な事、苦言など頂ける環境をつくる。	月1回、「たんぽぽ便り」で施設の御様子を紹介。またホームでのイベントを実施する際、家族様に連絡をしてホームに来て頂きやすい雰囲気作りに取り組む。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。